

PREMIUM
SELECT
SHOP



SST Service

エス・エス・ティー・サービス

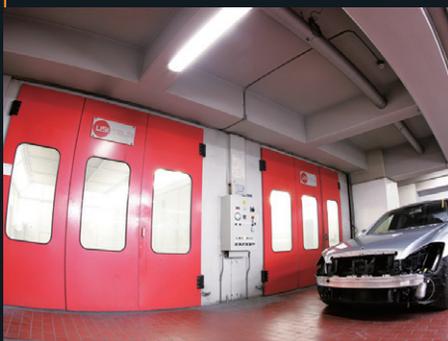
“完全なる現状復帰”を掲げる ボディリペアの職人集団

PHOTO・岩島浩樹
TEXT・佐藤圭(FRONTLINE)



Point 1 設備や道具は 精度と品質を妥協しない

一流の仕事には一流の道具を。広大なファクトリーにはメルセデス・ベンツ指定の最新設備が整っており、塗料もメルセデスについてはメーカー純正品を使用する。他メーカーの場合も、デュボンを始め信頼のおけるブランドしか取り扱うことはない。フレーム修正はまず新車と同等の精度まで寸法を出し、サスペンションパーツの曲がりや歪み、さらにアライメントも念入りに計測・調整していく。



INFORMATION

株式会社エス・エス・ティー・サービス

TEL/03-5715-7101

営業時間/9:00~19:00

定休日/日曜・祝祭日

東京都品川区東品川3-28-25 3F

http://www.ssts.jp



クラフトマンのクラフトマンたる所以、それは一体どこにあるのだろうか。自動車としての完成度は言わずもがな、ボディリペアにおいても高いクオリティが要求される、メルセデス・ベンツの指定修理工場。開業11年目を迎えたSSTサービスの榎氏は、「お客様の信頼を裏切らないこと」と、自らの技術に対するプライドであると回答してくれた。

「愛車の故障、特に事故ともなればオーナーにとっては思い出したくないはずの記憶。私たちの仕事をひとりで表現するならば、完全なる現状復帰だと考えています。道具に技術に情熱、どれかひとつが欠けても成り立つものではありません」

榎氏によると、最新・最高の道具を使うことはもはや当たり前。大切なのは、それらを扱う人間であるという。SSTサービスで钣金・塗装を手がけるのは前述のメルセデスを始め、フェラーリやランボルギーニといったプレミアムカーが大半を占める。当然ながら、乗り手も、安からう悪からう的な修理を是としな

い層であることは想像に難くない。自動車の価値に見合ったサービスを提供するため、榎氏が目指したものの。それは、スタッフひとりひとりが職人としての気概を持つことで技術を高め、ユーザーから「あそこに頼めば間違いはない」という絶対的な信頼を勝ち得ることだった。彼らのクラフトマンシップは、ボディリペアだけでなくエアロパーツの塗装、ボディコーティングにおいても存分に発揮されている。愛車に職人芸ともいえる美しい仕上がりを求めるならば、是非ともSSTサービスの門を叩くことをお勧めする。



Point 2

「誰にも負けない仕上がりを」 プライドが技術を高めていく

かつては2輪のレーサーとして名を馳せた代表・榎氏。「レースも钣金塗装も、始めた時期は他人より遅いほう。だからこそ負けないために誰よりも練習した」という言葉は、まさに職人そのものである。例えばボディコーティングだが、新車ですら4~5時間、3年を過ぎた車ならば1日半を磨き作業に費やすという。「クオリティを維持するために手間を惜しまない」という精神は、SSTサービスのスタッフ全員に受け継がれているのだ。

